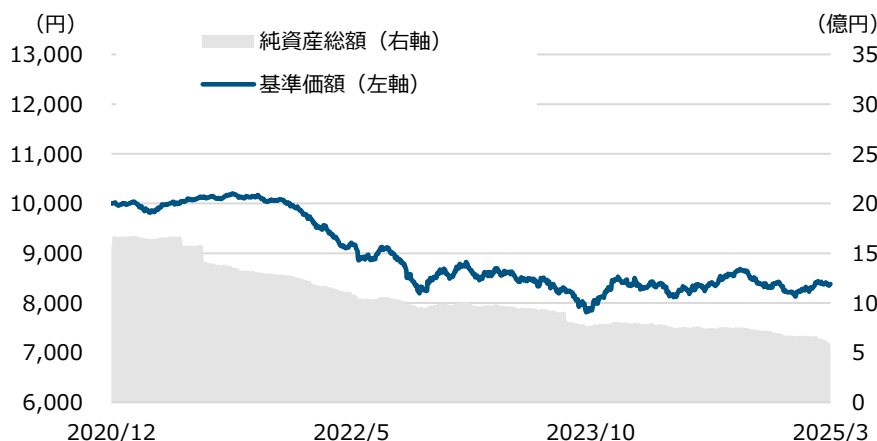


2025年3月31日 現在

## 基準価額等の推移



## ファンドの概況

基準価額	8,378円
純資産総額	5.9億円

設定日	2020年12月28日
信託期間	2025年6月30日まで
決算日	原則、9月12日 (休日の場合は、翌営業日)

・基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.2%	2.0%	-3.1%	-0.3%	-12.1%	-16.2%
ご参考：米ドル/円	-0.1%	-5.5%	4.8%	-1.2%	22.2%	44.3%

・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。

## ファンドの構成

Amundi Funds ストラテジック・インカム - I2 USD QD	97.8%
CAMマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.3%
現金等	2.0%

・現金等には未払諸費用等を含みます。  
・計理処理上、直近の追加設定が純資産総額に反映されないこと等の理由により、現金等の数値がマイナスになる場合があります。

## 分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算日	分配金
2021年9月13日	0円
2022年9月12日	0円
2023年9月12日	0円
2024年9月12日	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

・直近6期分の分配金実績です。  
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

2025年3月31日 現在

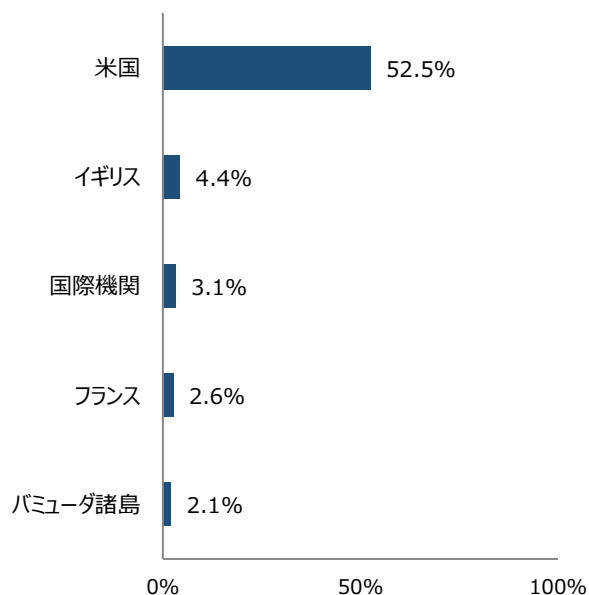
「Amundi Funds ストラテジック・インカム」の組入状況（純資産総額比・米ドルベース）

ポートフォリオ特性値

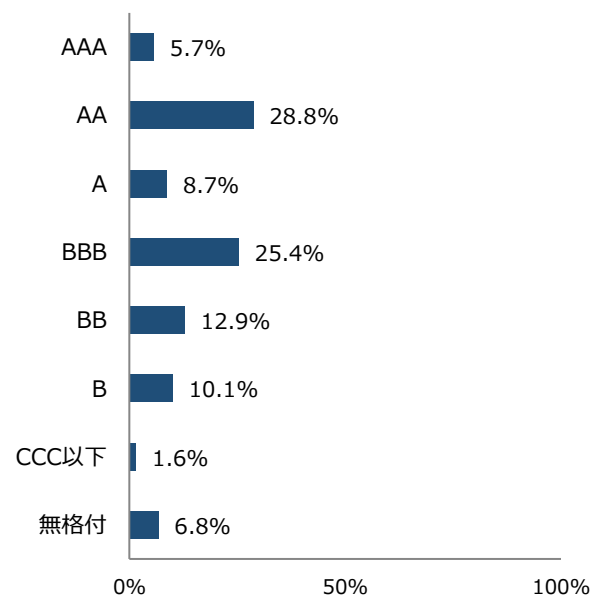
平均格付	A-
平均最終利回り（%）	6.14
平均直接利回り（%）	5.45
デュレーション（年）	6.16
組入銘柄数	1,061

・平均格付とは、基準日時点でファンドが実質的に保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。  
・格付は、フィッチ、ムーディーズ、S&P、KBRA、DBRS、モーニングスターの格付を基準に表示しています。

上位国別比率



格付別比率



・格付は、フィッチ、ムーディーズ、S&P、KBRA、DBRS、モーニングスターの格付を基準に表示しています。

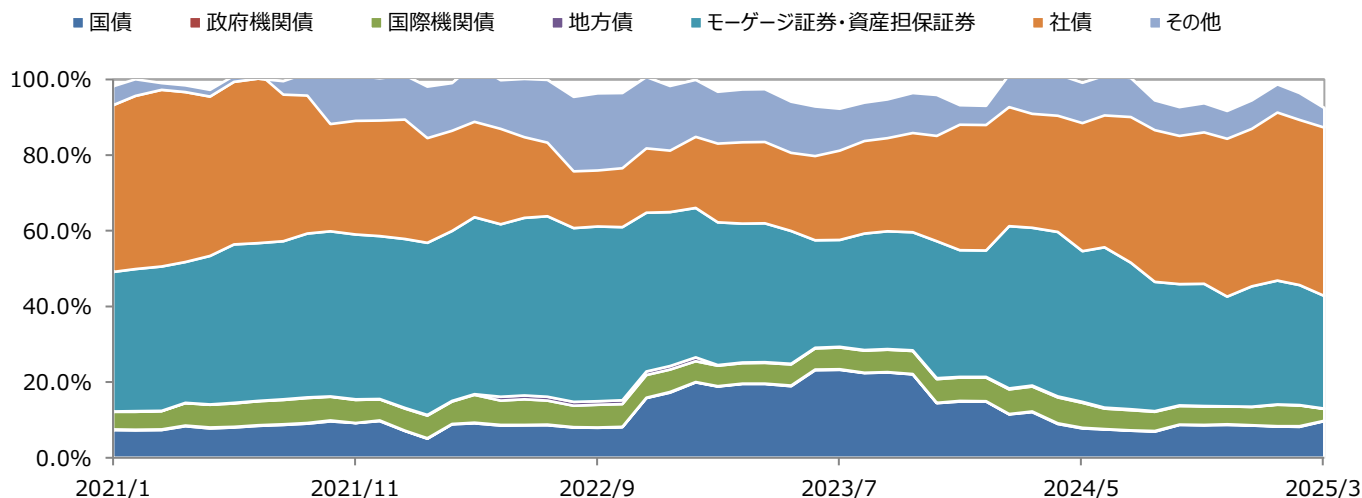
組入上位10銘柄

銘柄名	国名	比率
US TSY 3.75% 08/26	米国	1.8%
US TSY 3% 02/48	米国	1.2%
US TSY 2.25% 02/52	米国	1.2%
US TSY 4% 02/30	米国	1.1%
G2 MA8042	米国	1.1%
G2 MA7881	米国	1.0%
US TSY 4.25% 01/30	米国	1.0%
G2 MA8345	米国	1.0%
IBRD 2.5% 7/25	国際機関	1.0%
EBRD FRN 07/30	国際機関	0.9%

2025年3月31日 現在

「Amundi Funds ストラテジック・インカム」の組入状況（純資産総額比・米ドルベース）

債券種別配分の推移（月次ベース）



種別	比率
国債	9.7%
政府機関債	0.1%
国際機関債	3.1%
地方債	0.1%
モーゲージ証券・資産担保証券	29.8%
社債	49.6%
その他	-5.2%

「ご参考」投資対象となるさまざまな債券とその特色

国債	政府が発行する債券。発行量・流通量とも世界最大であり、一般的に高い信用力と流動性を有する。
政府機関債	政府関連機関や政府系金融機関等が発行する債券。
国際機関債	国際的な組織である国際機関が、主に世界各地域の開発・経済発展の資金供給のために発行する債券。
地方債	州、地方政府や地方公共団体等が発行する債券。国債同様、一般的に高い信用力を有する。
モーゲージ証券・ 資産担保証券	モーゲージ証券は、住宅ローン等の債権を担保として発行される証券。 資産担保証券は、自動車ローンやクレジットカードローン等の債権を担保として発行される証券。
社債	企業が発行する債券。民間の事業会社が発行する事業債、転換社債等を指す。

2025年3月31日 現在

「Amundi Funds ストラテジック・インカム」の運用コメント

(アムンディ・アセットマネジメント・US・インク)

＜市場環境＞

3月の米国債券市場は、全体としてみるとおおむね横ばいでした。米国の輸入関税引き上げへの懸念と貿易政策の行方の不確実性が高まり、インフレ率の上昇と当面の米国の成長率の低下を織り込み、投資家心理は悪化しました。トランプ大統領は、中国製品の関税を10%から20%に倍増、自動車・自動車部品の関税を25%と発表しました。関税引き上げの影響を受ける商品は、短期的に価格上昇と購入数量減少に見舞われる可能性が高く、各種経済予測に反映されました。月央のFOMC（米連邦公開市場委員会）後に発表された経済予測では、2025年のインフレ予測が高まり、経済成長が12月の予測よりも低下することが示されました。しかし、政策金利は維持されました。こうしたなか、金利はおおむね横ばいで推移し、リスク資産は売られる展開となりました。

＜運用状況＞

3月の「Amundi Funds ストラテジック・インカム」は、ベンチマークであるブルームバーグ・米ドル建ユニバーサル指数のリターンを上回りました。長短金利差の拡大により恩恵を受けるポジションが主なプラス要因となりました。エージェンシーMBS（モーゲージ証券）の銘柄選択もプラス寄与となりました。セクター配分は、産業、金融のオーバーウェイトによりマイナス寄与となりました。

＜今後の運用方針＞

米国の関税・貿易政策により、マクロ経済の見通しは、過去数か月で大きく変化しました。米国の輸入関税の引き上げによって、今後数四半期における価格上昇と支出減少が起きるとみられます。FRB（米連邦準備理事会）は、インフレに対する関税の影響は一時的であるとみており、利上げの実施はないと思われますが、さらなる引き下げを遅らせる要因になるとみています。FRBは、経済成長の減速を避けるための予防的な利下げには後ろ向きであり、大幅な利下げのためには労働市場の著しい悪化や景気後退を示す明らかな兆候が必要であると考えます。このため、政策の不確実性が高まり、FRBが景気後退を防ぐための金融政策で後れを取るリスクが高まっており、景気後退の可能性は大幅に高まっているとみています。

こうしたなか、当ファンドはデュレーションをややオーバーウェイトとし、また長期金利の上昇（イールドカーブのスティープ化）から恩恵を受けるポジションを選好します。また、景気後退リスクの高まりにより、直近のスプレッド（利回り格差）拡大にもかかわらず、クレジットには慎重な姿勢を維持し、引き続き格付が高い短中期のクレジットを選好します。ボラティリティ（価格変動性）が高い局面で、相対価値の観点から銘柄選択による投資機会を活用します。一方、証券化商品には引き続き投資機会が存在するとみています。

(上記の指数およびファンドのリターンは米ドルベースです。)

※購入の申込期間が限定された限定追加型の投資信託であり、現在ご購入の申込みはできません。

## ファンドの目的

ファンドは、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

## ファンドの特色

### 1 米ドル建を中心とする世界各国の様々な種類の公社債等を実質的な主要投資対象とします。

- ファンドは外国投資信託「Amundi Funds ストラテジック・インカム- I2 USD QD」（以下「外国投資信託」といいます。）への投資を通じて、主として米ドル建を中心とする世界各国のさまざまな種類の公社債等に投資します。また、国内投資信託「C A マネーボールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資します。

### 2 外国投資信託において、市場分析等に基づく機動的な資産配分と、調査・分析に基づく銘柄選択により、好水準のインカムゲインとキャピタルゲインの獲得を目指します。

- 外国投資信託の運用は、アムンディ・アセットマネジメント・US・インク※が行います。
- 外国投資信託が投資する公社債等の平均格付は、原則として投資適格とします。

※ アムンディ・アセットマネジメント・US・インクは、規制当局の承認および同社の顧客の同意等を条件として、2025年第1四半期末を目途にビクトリー・キャピタル・ホールディングス・インクの傘下に統合される予定です。なお、統合後においても外国投資信託の運用にかかる基本方針や体制、プロセス、手法に変更はありません。

### 3 原則として、為替ヘッジを行います。

外貨建資産について米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

### 4 信託期間は約4年6か月です。（2020年12月28日から2025年6月30日まで）

### 5 購入の申込みは、2020年12月28日までの間に限定して受付けます。

◆ 資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

## 投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク、流動性リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点としてファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

※購入の申込期間が限定された限定追加型の投資信託であり、現在ご購入の申込みはできません。

## 当資料のお取扱いについてのご注意

- 当ファンドは、既に募集期間が終了しております。本資料は当ファンドの運用状況を皆様により良くご理解いただくためにアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものであり、投資の勧誘や推奨を目的としたものではありません。
- 当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。
- 当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。
- 組入上位銘柄として記載されている個別銘柄については、当資料作成時点における保有銘柄情報であり、将来の組入れを保証または示唆するものではありません。また、該当銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。
- 投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属いたします。
- 投資信託は預金、保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。
- 投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。



※購入の申込期間が限定された限定追加型の投資信託であり、現在ご購入の申込みはできません。

## お申込みメモ

◆お取扱いコース、換金のお申込みの方法ならびに単位および分配金のお取扱い等について、販売会社によって異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

## 換金時

換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目から販売会社においてお支払いします。

## 申込について

申込受付不可日	以下のいずれかに該当する場合には換金の申込を受け付けません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューヨーク証券取引所の休業日</li> <li>・米国証券業金融市場協会が定める休業日</li> <li>・ルクセンブルクの銀行休業日</li> <li>・12月24日</li> <li>・委託会社の指定する日</li> </ul>
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、ファンドの換金の申込受付を中止すること、およびすでに受付けた換金の申込受付を取消すことができます。

## その他

信託期間	2025年6月30日までとします。（設定日：2020年12月28日）
決算日	年1回決算、原則毎年9月12日です。休業日の場合は、翌営業日とします。
収益分配	原則として毎決算時に分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

※購入の申込期間が限定された限定追加型の投資信託であり、現在ご購入の申込みはできません。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

信託財産留保額      ありません。

### 投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用 管理費用 （信託 報酬）	実質的な 負担の 上限	純資産総額に対して <b>年率1.603%（税込）</b> ファンドの信託報酬年率0.803%（税込）に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの（年率0.80%）を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。
◆上記の運用管理費用（信託報酬）は有価証券届出書作成日現在のものです。		
その他 の費用 ・手数料		<p>その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用</li> <li>・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。）</li> <li>・投資信託財産に関する租税 等</li> </ul> <p>※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税（年率0.01%）などの諸費用がかかります。</p> <p><b>※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。</b></p>

◆ファンドの費用の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

## 委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第350号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社りそな銀行
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する 照会先	委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン：050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス： <a href="https://www.amundi.co.jp/">https://www.amundi.co.jp/</a>



※購入の申込期間が限定された限定追加型の投資信託であり、現在ご購入の申込みはできません。

**販売会社一覧（業態別・五十音順）**

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第593号	○			○	
株式会社 りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第3号	○		○	○	